

事業番号	15 04 08	事業改善シート（28年度実施事業分）		■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	特別支援教育に関する機能強化モデル事業費			担当課	部局	教育委員会事務局	
				課・局・室	特別支援教育課		
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 5 すべての子どもの学びを保障する支援			実施期間	H25 ~ H28	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針						
	施策展開						

1 事業の概要

目指す姿	<p>○本県の今日的課題に対応し、幼児児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導や必要な支援を行うための実践研究に総合的に取り組むことにより、特別支援教育の更なる充実を図る。 ○実践研究の成果を広く県下に発信することにより、それぞれの学校力・地域力を高め活かす体制が充実する。</p>		
現状（予算編成時）	<p>○特別支援教育に対する理解が進む一方で、これまでの支援体制・支援内容では対応できない新たな課題が表出している。 ○この新たな課題は、全国的に見られる課題であり、解決のために国としても当事業に取り組み、研究を都道府県に委託している。 ○当事業で研究対象としているものは、長野県においても課題となっており、課題対応のための実践モデルが求められている。</p>		
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 文部科学省委託事業	
	県民との協働による実施：実施は困難		

成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)				
	○高等学校特別支援教育研究会において、モデル校での実践研究の成果報告を行い、県下の高等学校における特別支援教育の充実を図る。				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H28実施内容	H27 (当初)	H28 (要求) (予算案)
1. 特別支援学校機能強化モデル事業	直接		16,744	0	
2. 高等学校段階における特別支援教育の充実に関する実践研究	直接	<ul style="list-style-type: none"> 外部機関と連携した支援体制の構築 特別教育指導教員の配置 障がいに応じた特別の指導、能力・才能を伸ばす重点指導 研究実践校：箕輪進修高等学校 	3,788	4,212	
合計			20,532	4,212 0	

事業コスト	区分(単位:千円)					成果目標の達成状況							
	予算額	前年度繰越					項目	H26末	H27末 (見込)	H28			H29 目標
		当初予算	28,857	20,532	4,212	目標				成果	達成状況		
		補正予算	-5,644										
		合計(A)	23,213	20,532	4,212								
	Aの財源	一般財源					1 幼保小中高等学校のニーズに応じた講演会・研修会の開催回数	—	特別支援学校18校で40回開催	—			
		県債					2 研究成果報告書の配布	計1,000部	—	—			
		国庫支出金	23,213	20,532	4,212		3 高等学校特別支援教育研究会での成果報告	—	研究会の参加者75名	研究会の参加者100名以上			
		その他	0	0	0	0							
	決算額(B)		15,561										
概算人件費	職員数(人)	0.20	0.20	0.20									
	概算人件費(C)	1,652	1,652	1,652	0								
概算事業費(B(A)+C)		17,213	22,184	5,864	0								

指摘事項等への対応	(指摘事項等)	(対応)
<input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善		

要求からの主な変更点	
------------	--